

りぼん

Vol. 9
2010.2

特集

これからの人生、大丈夫？

団塊世代の方へお聞きしました!

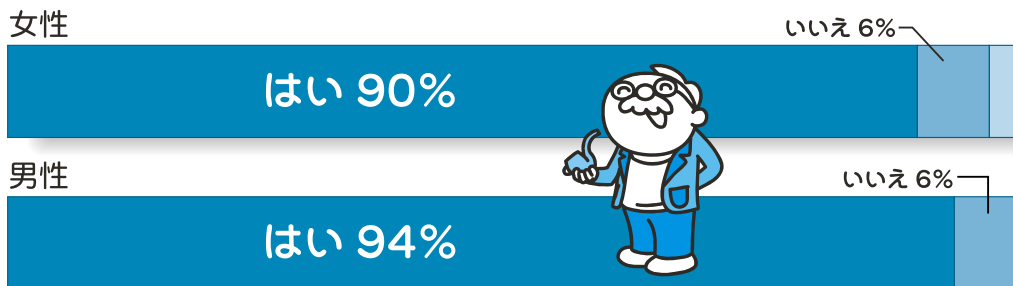


今回の「りぼん」では、高度経済成長の原動力といわれた団塊の世代の方(55~65歳)へ、家族の介護やパートナー(夫・妻)等についてアンケートを実施し、193名(女性95名、男性98名)から回答をいただきました。

団塊の世代は、男女共同参画社会の実現へ大きな影響力があると思われます。

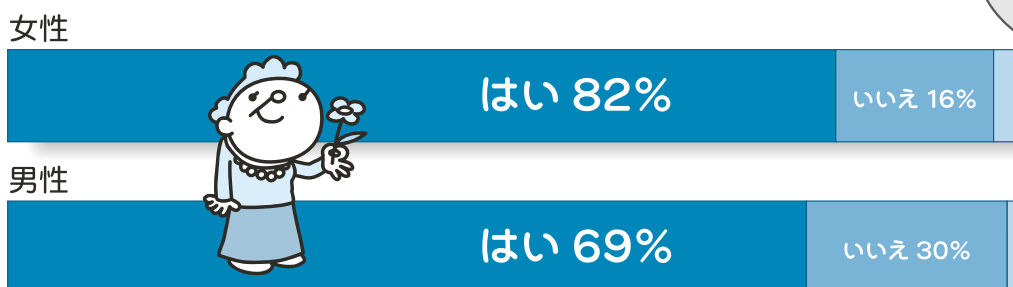
みなさんの家庭と比べてみて、夫婦や家族について、あらためて見つめなおしてみてもはいかがでしょうか。

◆パートナー(夫・妻)に感謝し、大切に思っていますか



「ありがとう」と声に出して言うことが夫婦円満の第一歩!

◆パートナー(夫・妻)に「ありがとう」と口に出して言えますか



思っているだけでは伝わらないよね

言うとおかずが一品増えるかも...

※無回答の表示は省略しています。

◆自分に介護が必要になった場合、誰に介護してもらいたいですか

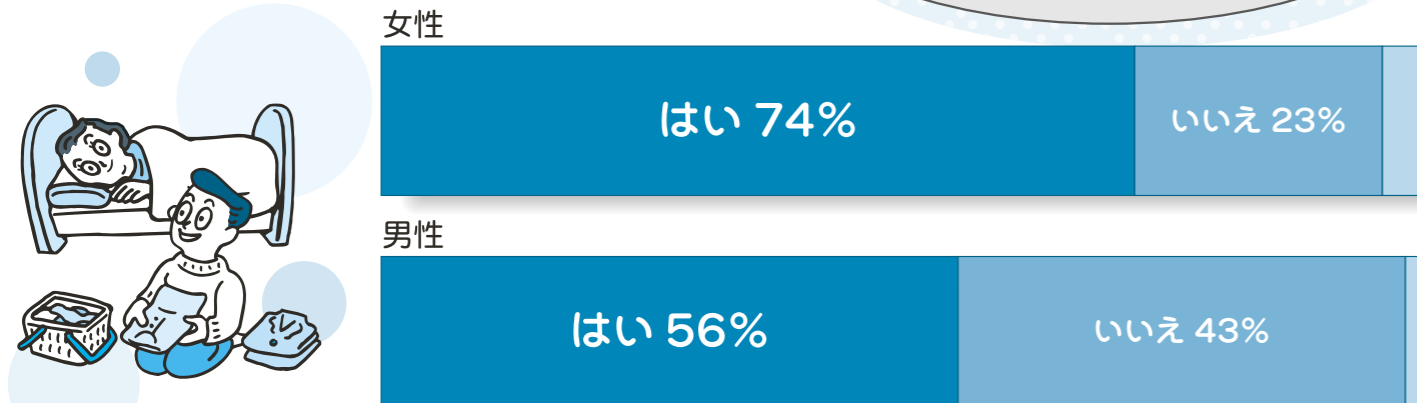


・「その他」の内容（多い順）
①施設 ②ヘルパー ③家族全員 など

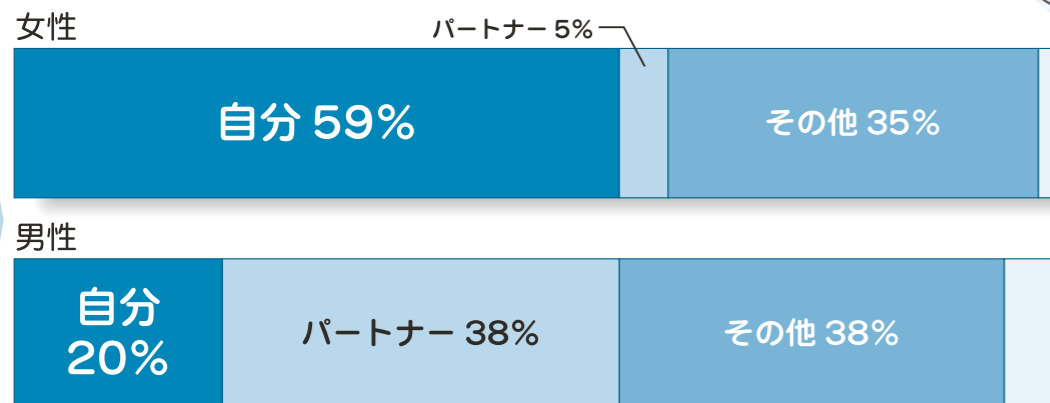


身近に迫った介護の問題、みなさんはこの結果をどう思いますか？

◆パートナー(夫・妻)の介護をする自信がありますか



◆両親の介護は誰がしますか (誰がしましたか)



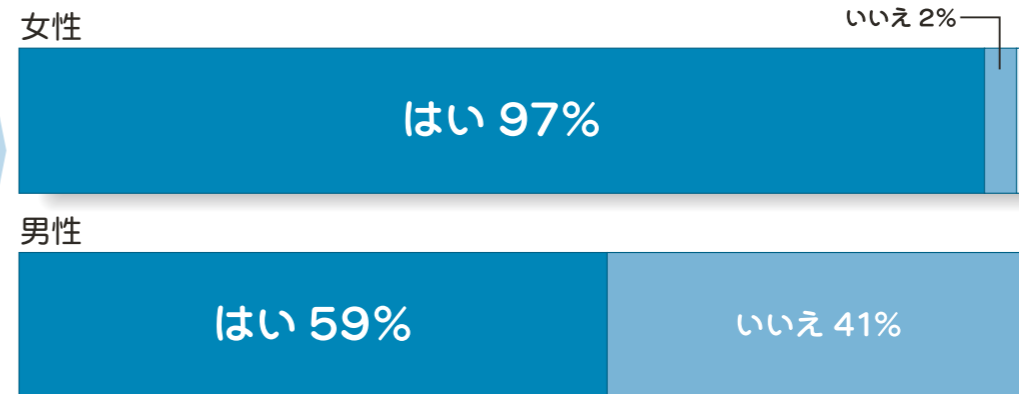
・「その他」の内容（多い順）
①自分とパートナー2人で ④施設（病院）
②他の家族（兄弟など） ⑤ヘルパー
③家族全員 ⑥していない など



誰の負担が重そう？

アンケートにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました!!

◆あなたは家事をしていますか



◆家事の内容(男女別)

女性

●家事全般

男性

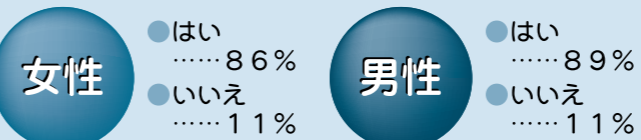
- 食事の準備、食事後の片付け
- 掃除
- ゴミ出し
- 洗濯物の取り入れ、片付け
- 家事の手伝い
- 休日に食事の準備
- ときどきする
- 妻が不在のときはする など

家事にチャレンジ!! やればできる!!



◆その他の質問結果

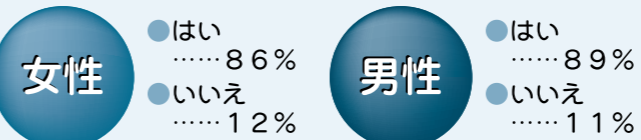
◆日常的に夫婦の会話はありますか



◆男女共同参画という言葉を知っていましたか



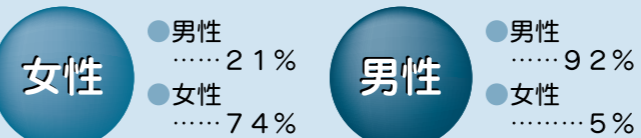
◆夫婦の仲は良いほうですか



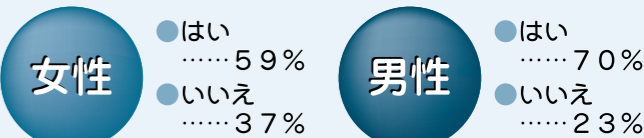
◆自分だけの自由時間をもっていますか



◆生まれ変わるとすると男性と女性どちらがいいですか



◆生まれ変わっても今のパートナーと一緒にいたいですか



自由記述の質問から回答を一部紹介します!

※()内は回答者の性別です

◆生まれ変わるとすると男性と女性どちらがいいですか【理由】※《 》内は選んだ性別

- 男と女、違いがあって当たり前。女でも自分の道を選ぶことができると思う。子育ては魅力(大変だけど)、素晴らしい仕事だと思っている。(女性)《女性》
- 60歳になって思えばどちらも結構たいへんで、今の世の中を生きていこうと思うと、それぞれに若い時代とはまた違った考え・思いで、やはり自分が今まで生きて来た道が一番良かったように思います。(女性)《女性》
- 女だからとしばられる時代に生きている為、男だったらやりたいことが自由にしたい!!(女性)《男性》
- 女性の家庭での仕事量は自分にはできないと思う。(男性)《男性》
- 1度男性を経験したので、男性としての欠点等理解できたので、生まれ変わった時にその欠点を補う生活ができるのではないかなと思われるから。(男性)《男性》
- 女性に生まれ変われば女性の気持ちがよく分かるかも。(男性)《女性》

◆男女共同参画社会についてのご意見

- いつも思いますが、男性(特に中高年)に教育が必要と思います。今の若い人は男性もよく協力して育児、家事をしている人が多いので…(女性)
- 男女お互い尊重し、できることを協力し合って社会、家族の中で過ごしていきたい。(女性)
- 男女それぞれの特性をいかしながら、お互いに尊重しあえるような家庭、社会であつたらいいなと思います。(女性)
- 仕事においては、男とか女とかの区別をすることなく、能力にあった役割を与え、能力が発揮できるような仕組みの社会になってほしい。(男性)
- 日本の社会は、女性が働きやすい環境とは言えないと思う。出産から育児まで含めて女性がもっと働きやすい社会になってほしいと思う。(男性)

◆これからの人生をどのように、過ごしていきたいですか

- 老いても夫婦仲良く支え合って生きていきたい。(女性)
- 孫の子守と年寄りの介護をしておりますが、平凡でもいいから健康に気をつけて毎日を通じたいと思います。ただ自由の体になったら好きな事を何か一つでもやりたいと思います。(女性)
- 今日まで多くの人と出会い、いろいろなことを学んできたと思う。残りの人生の時間、少々社会へ恩返しをしたいと思うし、自分にも投資をしたい(健康面でも…)と思う。1日1日を大切に過ごしていけたらいいと思う。(女性)
- これから先、自分にどんなことができるかという可能性を探りながら、パートナーと共にお互いを思いやりながら過ごしていきたいと思います。(女性)
- 今後は夫婦2人の生活になるので、支え合いの人生を歩みたいと考えます。(男性)
- 世の中に少しでも役立ち、家庭を大切に、次の世代に安心して全てを渡せるようにわかりやすい老人になるように努めたい。(男性)
- 男、女それぞれの立場から自由に意見を言い、それを受け入れながら過ごしていきたい。(男性)

編集後記

平成21年9月1日付で「りぼん」の編集委員の委嘱状をいただいて以来、早半年が過ぎようとしています。その間編集会議を重ねる中で、他の編集委員さんの家庭にも男女共同参画をめぐる多くの悩みがあることに驚きました。

そんな中、今回「団塊の世代」といわれる60歳前後の方々にアンケートをし、理想の男女共同参画社会への道のりは険しいことがわかりました。アンケートの柱は3つ。夫婦でお互い感謝の気持ちをもっているだろうか、男性はどのくらい家事をしているのだろうか、そして、

今後の介護についてどう考えているのだろうか、の3点です。

男女共同参画社会とは、「性別に関わりなく、多様な活動が選択できる(個性と能力を発揮できる)社会」と言われています。お互いの個性を尊重し、持ち前の力を発揮して、共に責任を負う社会の一構成員として、明日からちょっぴりこんな声をかけてみよう、あんなことをやってみよう、などと理想の男女共同参画社会に向けて、読者のみなさんが一歩でも前進されることを願っています。

新編集委員紹介

編集委員長 小川 政保

副編集委員長 双道 昌子

編集委員 川上 幸江、小林 正樹、杉 益江、難波 隆文、藤井 明美、山本 静香、赤木 崇泰、田井 奈津美

よろしくお願ひします